

2014年10月16日

各位

積水ハウス株式会社

新梅田シティ「新・里山」と「希望の壁」が 第34回(平成26年度)緑の都市賞 最上位の内閣総理大臣賞受賞

大阪の都心部に位置する新梅田シティ(所在地:大阪市北区大淀中1丁目)内の「新・里山」と「希望の壁」が、10月16日(木)発表の第34回(平成26年度)「緑の都市賞」(主催:公益財団法人都市緑化機構(所在地:東京都千代田区、理事長:興水 肇)において、最上位の「内閣総理大臣賞」を受賞しました。

新梅田シティの公開空地に創設した「新・里山」(約8000㎡)は、都心にいながら約100種500本を超える中高木や200種以上の草花が咲き乱れる里山の原風景を望むことができます。積水ハウスの生物多様性に配慮した庭づくりの取り組み「5本の樹」計画に基づき、「3本は鳥のために、2本は蝶のために、日本の在来種を。」という思いを込め、2006年7月に造成されました。8年経過した現在では、生物多様性に配慮した管理手法も奏功し、絶滅危惧種を含む40種以上の野鳥や50種を超える昆虫類など多くの生き物が確認されるなど、豊かな生態系が育まれています。オフィスワーカーや近隣住民、観光客などにも「憩いの場」として親しまれ、都市の自然を介した地域コミュニティの場としても活用されています。

また、建築家安藤忠雄氏の発案を受けて2013年11月に完成した「希望の壁」(高さ9m、長さ78m)は、開花時期の異なる草木を植栽し、四季の移ろいととも、表情が変わる斬新な巨大緑化モニュメントです。“参加し、育てる、都市緑化、自然再生の新しいモデル”をコンセプトとして、蝶を招く花木も混植させることで、「新・里山」東側の「バタフライ・ガーデン」ともつながる、緑にあふれた癒しの空間「バタフライ・ウォール」を目指しています。

<緑の都市賞とは>

樹木や花、水辺などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化、青少年の育成等に取り組む、環境や社会に対する貢献の実績と成果をあげている市民団体、企業、公共団体等の団体を顕彰し、快適で地球環境に優しい生活環境の創出を推進することを目的としている。

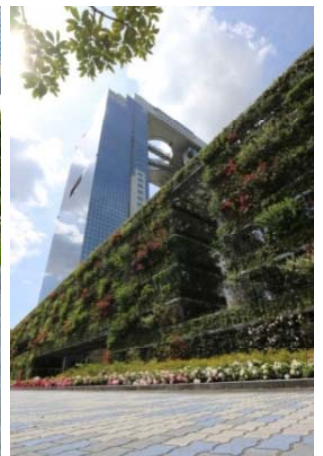
主催:公益財団法人都市緑化機構、後援:国土交通省/総務省/環境省/全国知事会/全国市長会/全国町村会



「新梅田シティ」



「新・里山」

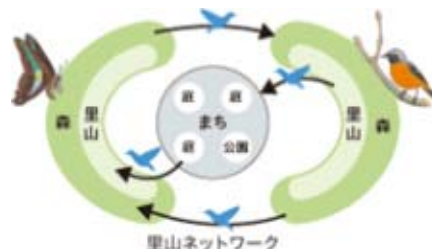


「希望の壁」

「5本の樹」計画

「5本の樹」計画とは、積水ハウス独自の生態系に配慮した庭づくり・まちづくりの提案です。当社は、最多の住宅を供給するハウスメーカーの責任として、住宅を通じた自然環境の保全に向け、『里山本来の姿』を手本に2001年から生物多様性に配慮した造園緑化事業「5本の樹」計画を進めています。

住まいの庭に小さな「里山」をつくることで、地域の自然とつなぎ、失われつつある生態系ネットワークを維持・復活させようというのが狙いの一つです。日本各地の気候風土に合った在来種の樹木をこだわって植栽することで、生き物など身近な自然と共生し、時とともに愛着が深まっていく庭づくりを目指しています。2013年度の樹木の植栽実績は106万本で、2001年の事業開始以降の植栽本数は2013年12月には累計1000万本を達成。2013年度末時点では1019万本となりました。



「新・里山」

「新・里山」とは、2006年夏、新梅田シティの北側部分約8,000㎡(2,400坪)の敷地に、積水ハウスをはじめとする地権者と共同で、日本の原風景である里山を手本としてつくられたものです。

「新・里山」には、草花はもちろん、水田や野菜畑、雑木林、竹林、茶畑などを配しています。2007年から地元の幼稚園、小学校と協働し、実施している教育支援活動のほか、無農薬有機栽培での米や野菜づくりなど、新梅田シティで働く人々やその家族らも体験できる貴重な場としても活用しています。



「新・里山」全景



地元小学生による農作業体験(田植え)



地元幼稚園による里山観察会



オフィスワーカーによる
じゃがいも掘り

「希望の壁」

「希望の壁」は、積水ハウス株式会社が世界的建築家安藤忠雄氏の発案を受けて、本社のある新梅田シティに2013年11月に創出した、高さ9m、長さ78mの巨大緑化モニュメントです。完成された緑ではなく、“人が参加し、育てる、都市緑化自然再生の新しいモデル”としての役割を担っています。

「新・里山」に隣接し、ともに豊かな生態系を育む自立緑化の植栽空間として、そのネットワーク形成に貢献しています。「希望の壁」の形状は、溪谷や崖など、自然にふさわしい立体的な環境を考慮しました。また、草木の選定については、庭や郊外の森、里山をつなぐ積水ハウスの取り組み「5本の樹」計画に基づき、自生種・在来種を中心に構成。年間を通して多彩な色とりどりの花が咲き競います。

蝶を招く花木も混植させることで、「新・里山」東側の「バタフライ・ガーデン」ともつながる、緑にあふれた癒しの空間「バタフライ・ウォール」を目指し、地域の親子で参加し育てる取り組みを進めています。



「希望の壁」



建築家 安藤忠雄氏の発案を受けて
創出した「希望の壁」



子どもが参加し育てる「希望の壁」子どもイベント(年間を通じて実施)



新梅田シティ内にある「新・里山」と「希望の壁」



新梅田シティ



「新・里山」



「新・里山」から撮影した
新梅田シティ内の「梅田スカイビル」



「希望の壁」

新梅田シティ 概要

所在地: 大阪府大阪市北区大淀中1丁目
 竣工: 1993年3月
 敷地面積: 41,782.75m²
 主用途: 事務所、商業施設
 事業主: 積水ハウス株式会社
 NREG東芝不動産株式会社
 ダイハツディーゼル梅田シティ株式会社
 株式会社テルウィンコーポレーション



＜新梅田シティ周辺地図＞